

# HISTORY

明治35年 (1902) 鳥取市吉成に鳥取県農事試験場として発足。  
 大正2年 (1913) 本場を廃止 (明治45年9月の暴風雨、大洪水の災害により、県財政が逼迫したため)。  
 大正4年 (1915) 本場を再設。  
 大正8年 (1919) 本場に園芸部を設置。  
 大正11年 (1922) 本場に農芸化学部を設置。  
 大正15年 (1926) 米子市旗ヶ崎に西伯分場を創設 (棉作試験地を吸収) 本場に病虫害部を設置。  
 昭和24年 (1949) 農業講習所を本場に併設。  
 昭和26年 (1951) 農事試験場の整理統合により農業試験場と改称、陸稲試験地 (赤碕) および大山原野利用開発試験地 (名和) を廃止。倉吉市福庭に東伯分場を創設。  
 昭和33年 (1958) 果樹関係 (果樹分場、柿試験地) を果樹試験場創設により同場に移管。  
 昭和40年 (1965) 農業講習所を廃止。  
 昭和46年 (1971) 農業試験場の整備計画完了により、鳥取市橋本に移転。これにともない東伯分場を廃止。  
 昭和50年 (1975) 園芸関係 (本場の園芸科、西伯分場、日南試験地) を野菜試験場創設により同場に移管。  
 平成元年 (1989) 試験場の機構改革により、従来の1課、8科を、1課 (総務課)、3室に再編。  
 平成17年 (2005) 試験場の業務見直しにより、水田基盤研究室を設置し、1課、4室に再編。  
 平成20年 (2008) 試験研究機関の組織改編により、農林総合研究所に統合。3室 (作物、環境、有機・特別栽培研究室) に再編。病虫害防除所を農業試験場に設置。  
 平成26年 (2014) 試験研究機関の組織改編により、農林総合研究所は廃止され、農業試験場として再編。  
 令和4年 (2022) 試験場の業務見直しにより、水田高度利用研究室を設置し、3室 (作物、環境、水田高度利用研究室) に再編。

# ORGANIZATION & STAFF

組織・人員 (令和6年5月1日現在)

場長
 

- 作物研究室
- 環境研究室 (病虫害防除所)
- 水田高度利用研究室
- 総務担当

職種 (常勤)	人員	職種 (会計年度任用職員)	人員
研究員	18 (場長含む)	ほ場管理専門員	1
農業技手	2	農業技術員	17
事務	1	事務員	1
計	21人	計	19人

# PREMISES

敷地



区分	面積 (㎡)
宅地	25,993
田	86,136
畑	7,186
水路	1,299
道路	9,580
その他	9,498
計	139,692

インスタはじめました!



@TOTTORI\_NOUSHI



お米の妖精コメルちゃん

■所在地

郵便番号 (Zip-code) 680-1142  
 住所 (Address) 鳥取県鳥取市橋本 260  
 電話番号 (Telephone) 0857-53-0721  
 ファクシミリ (Facsimile) 0857-53-0723  
 ホームページ (URL) <https://www.pref.tottori.lg.jp/nogyoshiken>  
 メールアドレス (E-mail) [nogyoshiken@pref.tottori.lg.jp](mailto:nogyoshiken@pref.tottori.lg.jp)

■交通案内

・JR鳥取駅から日交バス (津ノ井・倉田循環線) で農業試験場前下車  
 ・JR鳥取駅からタクシー15分



# 鳥取県農業試験場

Tottori Agricultural Experiment Station





食パラダイス鳥取県の

# 農作物生産を支える技術開発をめざした研究内容

## 研究室の業務内容

### 作物研究室

Division of Crop Science

- 水稻の新品種育成
- 奨励品種の選定
- 水稻・麦・大豆の栽培法の開発
- 原種生産
- 経営管理技術の開発
- 農業施設・基盤の維持管理技術の開発

## オリジナル品種の育成、高付加価値化技術の開発

- 新品種の栽培法に関する研究
- 作況に関する研究
- 稲・麦・大豆の原種、原々種の採種

比較品種

コシヒカリ	コシヒカリ	五百万石

育成品種

プリンセスかおり	星空舞	五百万星(出願中)

主な本県育成の水稻品種(赤字)



水稻の育種



奨励品種の選定

## 安全・安心、高品質な農産物の生産技術の開発

- 異常気象に対応した食味向上技術の開発
- イネごま葉枯病の抑制による食味向上技術の開発



食味向上技術(味度計による食味評価)



地力維持のための土壌診断



病害虫の診断・防除



イネもみ枯細菌病



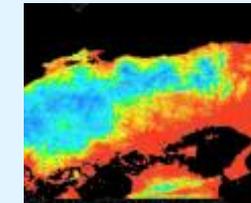
イネ縞葉枯病



ヒメトビウンカ



イネカメムシ



メッシュ気象データ



病害虫の発生予察(病害虫防除所)

### 環境研究室

Division of Agro-Environmental Management

- 病害虫の診断・防除法の開発
- 作物の栄養診断と施肥法の開発
- 土壌診断と管理技術の改良
- 環境にやさしい農業技術の開発
- 病害虫の発生予察と植物防疫(病害虫防除所)

## 低コスト生産・経営管理技術の開発

- 米価下落に対応した収益性の向上
- 水田農業経営モデルの活用による経営安定化
- スマート農業機器の活用法の検討



水田転作野菜の栽培技術



水稻湛水直播栽培

## 環境に配慮した持続可能な農業技術の開発

- 堆肥入り複合肥料の実用化
- DNAマーカー育種法を導入した耐病性品種の開発
- プラスチックレス肥料による水稻全量基肥施肥技術の開発
- 水稻除草効率向上技術の開発



ドローンによる生育診断技術の開発



農薬を使わない雑草対策

